

防災協だより (135号)

【発行所】(公社) 神奈川県高圧ガス防災協議会
横浜市中区尾上町1-4-1 (関内STビル11階) 電話045-212-1454
【編集責任者】企画部会長 山田 信之
<http://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp>

第9回 通常総会が開催される (通算第48回)

通常総会は、公益法人移行後第9回を数え、一時は新型コロナウイルス影響で開催も危ぶまれましたが、神奈川県をはじめ神奈川県警察本部、神奈川県消防長会長、各政令市消防局関係等のご来賓に出席いただき、5月17日(月)ローズホテル横浜ボールルームにおいて無事開催されました。

本年度は、役員非改選期であり、議事は、「2020

年度事業報告及び収支決算報告」、「役員(理事・監事)の一部変更(選任)」等について審議され、16時に総会は閉会しました。

休憩を挟み、退任役員(理事・監事)への感謝状並びに優良運送員の表彰式を行い、ご来賓お二方のご挨拶3頂いた後、散会しました。

公益社団法人 神奈川県高圧ガス防災協議会

令和3年度 (通算48回) 第9回 通常総会

会長あいさつ

布施 重男



皆様には日頃より大変お世話になっております、高圧ガス防災協議会の布施でございます。

令和3年5月の本日、第9回となります公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会の通常総会に、会員の皆様には、大変お忙しいところご出席を戴き誠にありがとうございます。

また、ご来賓として神奈川県くらし安全防災局、内山工業保安担当課長をはじめ県警察本部や消防局、そして関係保安団体の方々には、コロナ禍の中でもあり、公務ご多忙中にもかかわらずご臨席を賜り誠に恐縮でございます。

皆様方には、日頃より当高圧ガス防災協議会の事業活動に多大なるご指導と、またご支援ご協力を賜り、誠に有難く感謝申し上げます次第でございます。

お陰様で、高圧ガス防災協議会は昭和47年に設立以来今年で49年、途中公益社団法人に移行し、早9回目の通常総会を迎えることができました。

49年という長い歴史の中で、当防災協議会は、県ご当局並びに警察、消防等関係機関と連携して、高圧ガスに関わる事故・災害の発生防止と拡大防止、更には自主保安の推進・確立により『公共の安全の

確保』を目的として活動し今日に至っております。

そして来年は、節目の設立50周年を迎えます。コロナも収束し、皆様と共に盛大にお祝いが出来ますことを心待ちにしております。

さて、昨年度の事業を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染拡大防止を最大限考慮し、規模を縮小する等色々工夫しながら推し進めてまいりました。

例えば、県・警察・消防・防災事業所の連絡会議は会場使用が困難となり断念し、アンケート調査方式での書面開催とさせて頂きました。

高圧ガス運送基準講習や運送指導員資格取得更新講習も定員を制限した為、その分回数を増やして実施、また神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練も一般見学者はご遠慮戴く等、若干規模を縮小させて頂きました。

雨の中での訓練となりましたが何とか無事成功裏に終了することが出来ましたことは非常に喜ばしい限りでございます。改めて皆様のご協力に感謝申し上げます。

今期の事業も、コロナ禍が収束を見ないことであれば、前年度と同様な事業活動になると思っております。

後程、事業報告並びに今年度の事業計画の詳細をお示し致しますが、本年も、皆様と一緒に工夫をしながら事業活動を展開し、『高圧ガスに係わる保安の確保』に全力を傾注して参りたく存じます。

そして、すべての高圧ガスに携わる事業所から事故災害がなきよう、『自主保安の推進と関係機関との連携体制』の充実を図って参ります。

結びに、今後とも当高圧防災協議会への益々のご支援ご協力をお願いすると共に、時節柄皆様のご健勝を切にご祈念申し上げ挨拶とさせて頂きます。

来賓(就任)のごあいさつ

神奈川県くらし安全防災局防災部

工業保安担当課長 内山 和子 様



公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会におかれましては、日頃から役員、会員の皆様が一体となり、運送指導員講習、運送員講習の開催、さらに防災事業所緊急出動訓練を実施するなど、運送途上の高圧ガスの災害発生及び拡大の防止にご尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

この度、本年4月1日付けでくらし安全防災局防災部工業保安担当課長に就任いたしました内山でございます。よろしく願い申し上げます。

昨年来、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い変化する社会情勢への積極的なアプローチと先見の目が必要となっております。加えて、自然災害への備えの必要性も年々増すばかりです。一昨年の台風15号、19号においては、高圧ガス容器の流出や土砂崩れ等によるLPガス供給設備の破損も発生しています。想定外の事態及び災害への対策は、平時からの課題意識に基づく協力体制の構築が必須であります。

また、今年は東日本大震災から10年が経過し、地震及び津波に対する警戒が改めて求められてい

ます。本県においても、太平洋岸の広範囲で被害が予想される南海トラフ地震の30年以内の発生確率が70～80%となっているほか、最大震度6強と予想されている首都直下地震についても、今後30年以内の発生確率が70%とされています。

このような複数の巨大地震など災害の発生が危惧されている状況においては、万一の際の防災力を強化することが不可欠であり、コロナ禍で多くの制約はありましたが、貴協議会のご協力の下、昨年10月に「高圧ガス地震防災緊急措置訓練」を無事実施いたしました。

地震等の災害時の混乱の中でも、周囲にお住まいの住民の皆様の生活の安全確保のため、今後とも皆様に期待される役割は非常に大きいものがございますので、引き続き、県民が安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向け、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会及び会員事業所の皆様のご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

〔ご列席いただいたご来賓の方々〕(敬称略)

・神奈川県くらし安全防災局防災部	工業保安担当課長	内山 和子
・神奈川県警察本部生活安全部生活安全課	課長補佐	横田 貫司
・神奈川県警察本部警備部危機管理対策課	課長補佐	尾崎 哲郎
・神奈川県消防長会長代理川崎市消防局	予防部長	砥石 勝美
・横浜市消防局予防部	保安課長	瀬上 哲也
・相模原市消防局	消防部長	小野 浩之
・川崎市消防局予防部危険物課	担当課長	瀧下 隆男
・相模原市消防局危険物保安課	担当課長	沼田 祐輔
・(公社) 神奈川県LPガス協会	専務理事	早川 剛弘
・(一社) 神奈川県高圧ガス流通保安協会	会 長	佐波 充

来賓ごあいさつ

神奈川県消防長会会長代理

川崎市消防局予防部長 砥石 勝美 様



本日は、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会の第9回通常総会が、このように盛大に開催されましたことに、まずもって、心からお喜び申し上げます。

協議会の皆様方には、平素から各種講習会の開催をはじめ、防災訓練や地域の防災体制の整備など、高圧ガスの保安確保に向け、積極的に取り組み、県内24消防本部を代表いたしまして、改めて感謝を申し上げます。

さて、令和2年年頭から現在まで、世界的大流行となっております新型コロナウイルス感染症は未だに収束が見えない状況であります。この間、数回にわたり緊急事態宣言の発令があり、県内においても多くの自治体にまん延防止等重点措置が適用され、生活様式の見直しが行われておりますが、罹患者数が減少しない状況が続いております。加えて、我々消防職員は、引き続き複雑多様化する災害等に備えるためには、大規模災害対策の推進や防火・防災安全対策に加え、消防車両・資機材の充実や消防署所の整備など、災害対応能力の強化や人命救助体制を確立していく必要があると考えております。

また、県民の皆様方の安全で安心な暮らしに対する関心はますます高く、消防機関に寄せられる期待も大変大きなものがございます。

大規模災害等が発生した場合、一消防機関だけでは対処が困難な事案も多数予想されます。今後

は、地域の皆様はもとより、国、県、市町村の防災関係機関、さらには、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会をはじめ、各種公共団体、民間企業等が一体となり連携を強化することにより、大規模災害に対応できるよう、日頃から協力体制の構築に向け、確実に取り組んでいきたいと考えており、県内各消防本部と情報を共有しながら、県民の皆様方の期待にしっかり応えてまいりたいと考えております。

また、高圧ガス保安法及び火薬類取締法の事務・権限が神奈川県から各指定都市に一部移譲されており、とりわけ高圧ガスに係る保安確保につきましては、皆様方と、より緊密な連携をとりながら、更なる充実強化を図るため、日頃から協力体制の構築に向け確実に取り組んでまいりたいと考えております。

どうか、皆様方におかれましては、引き続き変わらぬ御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会のますますの御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和3年5月17日

神奈川県消防長会 会長 日迫 善行

本日は、誠におめでとうでございます。

2021年度 事業計画

(2021年4月1日から2022年3月31日)

1 高圧ガス防災体制の構築

(1) 防災事業所等の防災体制整備・維持

① 防災体制整備に伴う新規防災事業所体制の維持と定期的な見直し

防災事業所新規体制の構築に向けた作業は、平成26年度のアンケート調査に始まり種々の調査結果を踏まえ、平成29年10月に防災事業所新体制に移行しました。

本年度も昨年同様、新防災事業所体制が正常に機能するべく、下記内容について作業を進めてまいります。

- ア 防災事業所新体制についての関係者への継続的な周知（連絡会議、講習会、運送員必携等）
- イ 定期的な見直し作業（防災事業所情報、ルール改正等）

② 行政・警察・消防・防災事業所連絡会議

防災協議会からの連絡会議へ出席いただいている方々は、防災事業所及び地区分科会委員で構成されています。これまでの県、指定都市の一部権限移譲や防災事業所の再編に伴い連絡会議への出席者が一部変わりましたが、従来通りの出席メンバー、開催場所で連絡会議を運用いたします。

尚、事故事例を基にした机上対応訓練、喫緊の課題について意見交換など、より一層のコミュニケーション強化に注力します。

(2) 各種高圧ガス運送車両の点検指導

運送車両は、高圧ガスを運搬するうえで警戒標をはじめ、移動時における事故等に備え緊急資材・保護具等の携行が求められます。これらは、自身の認識において十分と判断しても第三者から見た場合は、往々にして欠陥・間違い等があります。

これらの状況は正と遵法を目的に、昨年と同様、車両の点検指導を実施します。

① 高圧ガスばら積み運送車両点検指導

10月1日～31日の間に、昨年と同様の点検実施事業所によって実施します。

② 一般高圧ガスタンクローリー車両点検指導

11月1日～30日の間に昨年と同様に実施します。

(3) 高圧ガス事故に係る防災訓練

① 神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練

県及び関係保安団体が主催する「2021年度神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練」は、川崎地区（川崎市）において実施されます。

☆開催場所：麻生水処理センター ふれあいの広場
川崎市麻生区上麻生6-15-1

☆開催日時：2021年10月14日（木）13時～16時

② 防災事業所緊急出動訓練

2021年度のみニ防災訓練は昨年と同様に、指定する6地区の事業所において実施しますが、近年各事業所事情や昨年のコロナ禍影響で実施を見送る

ケースが増えており、昨年同様に開催時期や方法について柔軟性を持たせるなど改善を模索します。

一方、自主防災緊急出動訓練については、緊急措置の自主訓練は今までどおり実施していただきますが、公的機関からの出動要請に対しては、対応が可能な体制作りに注力し、具体的には、公的機関からの出動要請に対し社内連絡網（休日・夜間体制を含む。）について検証し、再確認をお願いすると共に、緊急措置訓練にも社内連絡網に沿った呼び出し内容を訓練に取り込み、実施していただきたいと思っております。

2 高圧ガスの運送・移動に係る講習及び教育

これまで同様引き続き、「高圧ガス運送基準指導講習」及び「高圧ガス運送指導員資格取得更新講習」を実施します。またKHKの委託事業として展開する「高圧ガス移動監視者講習検定」についても同様に実施します。

- ① 高圧ガス運送基準指導講習会
- ② 高圧ガス運送指導員資格取得更新講習
- ③ 高圧ガス移動監視者講習検定

3 その他事業

県内、県外を問わず関係保安団体との交流を深め連携強化を図ると共に、関係団体の協力の下、事故災害の防止を目的とした的確かつ迅速な情報収集に努めます。

① 神奈川県高圧ガス火薬類保安大会

高圧ガスを製造し又は取り扱う事業所及び従事者に対し、保安意識とその高揚を図る目的から、工業保安強調月間期間中、保安功労者（個人・団体）に対して防災協議会会長表彰を行います。

また、これら式典を執り行う行政、関係団体との一層の協力を努めます。

② 部会県外研修見学会

他県において開催する防災訓練や地域防災協議会との意見交換を行う目的で毎年開催していますが、昨年度はコロナ禍影響により中止と致しましたので、本年度については、引き続き早期に実施要綱等を取り纏め、開催日時、開催場所等を会員の方々に提示し、より多くの会員参加者を募るよう努めます。

③ 広報

高圧ガスに係る法令、例示基準、運送基準等を始め、他県における情報について収集を図り、会員に対し迅速かつ正確な情報をホームページ、機関誌等に掲載します。

- ア 防災協機関誌（「防災協だより」）の発行
- イ ホームページ掲載内容の随時更新
- ウ 協会創立50周年事業の計画・立案・準備

④ 事業推進に向けた各種会議の開催や関係団体との会議・打合せ等にも積極的に参加します。

以上

令和3年度 役員(理事・監事)

(非改選・理事)	理事	宇都宮 仁	理事	藤田 昌司 (新任)	
会長	布施 重男	理事	上梅澤和昭	理事	藤村 尚志
副会長	森川 清二	理事	栗原 英晃	理事	益子 陽一
副会長	山田 信之	理事	小谷 哲雄	理事	三上 裕司
副会長	西川 隆浩	理事	小林 寛 (新任)	理事	宮内 宏幸
副会長	荒川 栄	理事	佐波 充	(非改選・監事)	
専務理事	椎木 孝治	理事	副島 健一	監事	安久井 満
理事	井上 康	理事	廣瀬 英明	監事	大住 智幸 (新任)
理事	宇佐美雅彦	理事	福本康史郎 (新任)	監事	平田 芳則

感謝状及び表彰状の贈呈

本年度の総会をもって退任された理事3名、監事1名、並びに、運送事業所より推薦された19名の優良運送員の方々への賞状授与式が行われました。

但し、今年度はコロナ禍影響により退任役員への感謝状は総代1名への授与に留め、優良運送員については会場で皆様のお名前をご披露し、賞状と記念品は直接お手元へ郵送する方式と致しました。

理事・監事の皆様には、理事会をはじめ各種委員会等に参加をいただき、心よりお礼を申し上げます。また、優良運送員の方々には表彰を機に、一層の高圧ガスの安全な取り扱いと安全運転に心掛け、高圧ガスの保安確保に努めて頂きたいと思っております。



《退任理事 (感謝状)》 (敬称略)

(理事)	(監事)
岡本 崇 昭和電工(株)川崎事業所	坂本 一仁 大陽日酸(株)
五味沢和彦 ENEOS(株)川崎製油所	
近藤 眞和 楠原輸送(株)	

《優良運送員 (表彰状)》 (敬称略)

京 宜昭 伊藤忠工業ガス(株)	三原 圭 大光陸運(株)
目黒 一弘 極東運輸(株)	栃澤 隆平 (株)辰巳商会
瀬野 幸治 楠原輸送(株)	増田 信保 (株)辰巳商会
杉本 寿蔵 楠原輸送(株)	志賀 明 日酸運輸(株)
尾方 謙 神農流通(株)	関 和之 (株)ファインエナジー
塩澤 憲一 神農流通(株)	播本 真和 扶桑運輸(株)
河野 真一 清徳運輸(株)	吉竹 真吾 扶桑運輸(株)
長瀬 登 清徳運輸(株)	新宅 正義 丸一輸送興業(株)
藤間 博行 (株)セントラルガスセンター	鳴毛 努 丸一輸送興業(株)
早野 裕介 (株)セントラルガスセンター	

神奈川県工業保安関係部署異動状況 (2021年4月1日付)

部署・職位	氏名	部署・職位	氏名
くらし安全防災局長	花田 忠雄	くらし安全防災局副局長兼総務室長	佐川 範久
防災部長	田邊 親司	危機管理担当部長	瀬戸山 昭臣
総務室企画調整担当課長	青木 淳	総務危機管理室管理担当課長	長澤 義朗
防災部危機管理防災課長	能戸 一憲	防災部応急対策担当課長	岩淵 浩二
防災部消防保安課長	多田 彰吾		
くらし安全防災局防災部消防保安課 (工業保安担当) 045-210-3475 Fax045-210-8830 (共通)			
(所轄地域: 横浜市、川崎市、横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)			
工業保安担当課長	内山 和子		
LPガス・火薬・電気グループ 045-210-3475、3484			
グループリーダー	藤澤 泉	技師	古久澤翔太
主事	寺澤 義行	主事	喜屋武 尚
主事	山田 雄馬	主任専門員	石神 猛
臨時技師	東 晃夫	非常勤	早重 律子
非常勤	樋口 易代		
高圧ガス・コンビナートグループ 045-210-3479、3489			
グループリーダー	津田 宏久	副技幹	小川 孝志
主査(技術)	保坂 由文	主査(技術)	岡田沙絵子
主査(技術)	橋本 和宏	主任技師	平井 望
主任主事	相原 浩行	主任技師	川崎康二郎
技師	石井 達也	非常勤	喜多村節義
県央地域県政総合センター 電話 046-224-1111 Fax 046-225-5218			
所管地域: 相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村			
所長(事務)	木口 真治	環境部長(技術)	池貝 隆宏
環境保全課長(技術)	森田 康裕	主査(技術)	村田 千裕
主事	森 祐輝	技師	白石 鮎実
臨時技師	黒木 勇磨		
湘南地域県政総合センター 電話 0463-22-2711 Fax 0463-24-3608			
所管地域: 平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町			
所長(事務)	竹村洋治郎	環境部長(技術)	西田 積
環境保全課長(技術)	三島 聡子	副技幹	堀田 健治
主査(技術)	堀部 英基	主査(事務)	山本絵里砂
非常勤	伊山 義忠		
県西地域県政総合センター 電話 0465-32-8000 Fax 0465-32-8111			
所管地域: 小田原市、南足柄市、中井町、大井町、町田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町			
所長(事務)	藤沢 恭司	環境部長(技術)	人見 孝
環境保全課長(技術)	大塚 知泰	副主幹	吾妻 毅
副技幹	飯田 信行	主任技師	坂根 宏志
技師	水上 眞琴		

ミニ防災訓練関係

2020年度の「ミニ防災訓練」は、残念ながら訓練参加者の確保難や新型コロナウイルス影響等により中止が相次ぎ、実施された会場は1会場のみとなりました。

地区	実施日	事業所名	地区	実施日	事業所名
川崎	中止	大陽日酸(株)川崎水江事業所	湘南	中止	地区合同
横浜	—	ジャパンエナジック(株) 横浜事業所	県西	—	(株)小田原ガス
横三	11/5	(株)サガミ	県央	中止	新相模酸素(株)相模原工場

※(川崎地区)、(湘南地区)、(県央地区)：新型コロナウイルス影響により直前に中止を決定。



2021年度のミニ防災訓練は、時期、方法等引き続き検討の必要がありますが、差し当たり従来と同様の枠組みでミニ防災訓練実施を予定いたします。

尚、地区によっては開催時期が従来の2月ではなく、夏季または秋季に実施する場合がありますのでお手数でも当協会からのご案内文等でご確認ください。

(2021年度ミニ防災訓練実施予定事業所)

地区	事業所名	地区	事業所名
川崎	大陽日酸(株)川崎水江事業所	湘南	地区合同
横浜	東京ガスLPGターミナル(株)	県西	調整中
横三	(株)セントラルガスセンター	県央	新相模酸素(株)相模原工場

2020年度(第48回)神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練

訓練開催日時：2021年10月14日(木) 13時～16時

訓練会場：川崎市麻生水処理センター ふれあい広場

(川崎市麻生区上麻生6-15-1)

訓練概要：高圧ガス燃焼特性紹介、基本措置訓練等

主催：神奈川県、川崎市消防局、県内5保安団体

関係機関：神奈川県警察本部、神奈川県麻生警察署 他

会員事業所紹介

ミライフ株式会社 神奈川支店横浜オフィス

弊社の出発点は、1927年（昭和2年）に設立された、朝鮮半島の無煙炭の販売を行う合資会社電興無煙炭商会でした。その後、複数の練炭・豆炭製造会社と次々と統合し、1934年（昭和9年）に品川豆炭株式会社として設立され、1936年（昭和11年）に品川燃料株式会社へと社名変更し、練炭・豆炭・石炭の3部門を持ち、製造から販売まで総合的に経営する企業となり、とくに豆炭事業では関東地区で50%以上のシェアをもつこととなりました。また、当時「上つけコンロ」、「品川あんか」といった2つのヒット商品を生み出し全国の家庭に行きわたるようになりました。その後エネルギーの総需要が順調に伸びる中で、石炭から石油への転換は急速に進行し、創業以来、固形燃料を主軸として歴史を築いてきた当社は、年を追うごとに石油・LPガス・燃焼機器などを仕入・販売する燃料総合商社の色彩を強めていきます。LPガスの販売に



ついては、1955年（昭和30年）に開始、丸善石油と特約店契約を結び、以降全国各所へLPガス基地の開設を展開致しました。

1998年（平成10年）創業70周年を機とし社名をシナネン株式会社と改め、2015年（平成27年）純粋持株会社体制の移行に伴い、現在の商号シナネンホールディングス株式会社に変更、主に関東圏でのエネルギー供給（卸・小売）展開する事業会社をミライフ株式会社とし現在に至ります。

ミライフは、「お客様が原点」という基本理念のもと、関東全域に広がる販売事業者様と直営店ネットワークの両輪で、神奈川県下においては横浜市港北区、相模原市中央区、藤沢市大庭の3拠点にて事業展開をしております。大きくは3事業で構成されており、①安定的に供給するエネルギーの事業（LPガス・石油類・電気・太陽光発電システム・エネルギーソリューション）②快適な生活を提案する住まいの事業（ガス機器販売・リフォーム・省エネ・創エネ・畜エネ・レンタル・リース）③暮らしのお困りごとを解決する暮らしの事業（ハウスクリーニング・水のトラブル対応）となっております。地域に根ざした総合エネルギーサービス企業として、「安心して・安全に・安定的に」ご利用いただくことを使命とし、社会環境の変化や生活スタイルの多様性が進む中でサービスメニューを上げ、これまでお客様に快適な生活を提供してまいりました。私達はこれからも地域に密着した販売事業者様と強いパートナーシップを結び、お客様に寄り添いながら街と暮らしの活性化につながる取り組みを推進いたします。そして、持続可能な社会の構築に寄与することで、地域に根ざした「エネルギーと住まいと暮らしのサービスで地域すべてのお客様の快適な生活に貢献する」ことを実現していく所存です。今後とも公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会、会員各社の皆様には更なるご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

東京ガスエネルギー株式会社 神奈川支社

当社は、1960年2月に東京ガス株式会社の子会社として、主にLPガスをお客さまに販売・提供する会社として設立（当時は東京液化ガス株式会社）いたしました。

当時は現在とは違い、都市ガス供給網が未整備だったこともあり、都市ガス未普及地域及びその周辺において、将来都市ガスが供給可能になるまでの間、LPガスにて供給を行うなど、親会社である東京ガス㈱と連携して地域のエネルギー供給に取り組んでまいりました。また、工業用においても、ガス熱源転換に対応するべく液化ガスの供給を行うことを目的に普及・拡大してまいりました。

さらに、1961年9月の保谷充填所（東京都）の建設について1962年9月には、主として川崎市以西地区にLPガスを供給するための充填基地を、大和市（現在の東京ガスエネルギー神奈川支社）に建設し、今日まで稼働をいたしております。

現在は、当社の企業理念であります「私たちは、エネルギーの



プロとして、不断の努力と挑戦により、お客さまの感動を創造していきます」のもと、安全にLPガスを供給するだけでなく、住設機器の販売・交換、リフォーム、電力販売（東京ガスの取次店）など、お客さまのニーズにお応えしていくとともに、暮らしや生活を快適にする事業を幅広く展開しています。

また、2011年に発生した東日本大震災の教訓を踏まえ、大規模災害時でも重要なライフラインであるLPガスを安定的に供給できる体制を整え、LPガスを供給するお客さまの個人宅はもちろん、避難所、病院、役所などの優先施設への供給・配送を行う役割も担っています。

最後になりますが、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会の皆様方をはじめとする、公益社団法人神奈川県LPガス協会及び会員の皆様には、引き続きましてのご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



会員事業所紹介

株式会社エネサンス関東 藤沢事業所

弊社は1941年(昭和16年)2月、廃油の再生利用を事業目的とする「旭日更生油(きよくじつこうせいゆ)株式会社」として誕生しました。1952年(昭和27年)には、「日本油化工業株式会社(昭石グループ)」のLP事業を継承し、LPガス事業を開始。1941年以降、1985年までの間に3度、「旭加工油株式会社」、「昭和石油瓦斯株式会社」、「昭石ガス株式会社」と改称してきた弊社は、2009年4月、「昭石ガス株式会社」、「(株)昭石ホームガス」、「住商液化ガス株式会社中央」の3社合併により、「株式会社エネサンス関東」という現在の社名に至りました。

弊社では、①「エネルギー及び生活関連分野での顧客満足の実現」、②「法令順守・安全確保・環境保全を重視した社会貢献」、③「信用第一・技術向上に努めた誠実な行動」、④「新たな価値の創造」、⑤「社員が誇りと情熱を持ち、豊かな未来を築く」、という5つの経営理念を掲げ、関東一円にお住いの皆様へ安心・安全にLPガスをご利用頂けます様、日々取組んでおります。

前置きが長くなりましたが、今回ご紹介させて頂く、「株式会社エネサンス関東 藤沢事業所」は、1968年(昭和43年)4月に開設した事業所です。卸部門は、東は葉山町、西は平塚まで、小売部門は、二宮町から厚木市に至るまで広範囲に事業を展開させていております。また、物流部門も小田原市、南足柄市、秦野市、伊勢原市までの広範囲で事業展開をさせて頂いております。

藤沢事業所では、グループの基本方針「Health(健康)、Safety(安全)、Security(危機管理)、Environment(環境保全)」に則り、事故・災害を未然に防ぐ事、お客様や近隣住民の方への配慮を怠らないよう日々努めております。

特に、LPガス製造設備の点検・維持管理には万全を期し、災害時など緊急避難場所等へ迅速にLPガスの供給ができる体制(ライフラインの確保)づくりには、注力しております。

その他、人材育成にも力を注いでおり、「保安に関する知識講習及び実技訓練」を始め、必要な知識・技術を習得する為の勉強会も定期的に行っております。

販売面では、主軸のガス部門の他、住設部門(リフォーム分野・家電製品)、小売電力部門(エネさんでんき)にも注力しております。今後も総合エネルギー企業として、より多くのお客様に喜ばれるご提案が出来るよう日々精進して参ります。

最後になりますが、コロナ過も1年以上が過ぎ、ようやくワクチン接種も始まりましたが、予断を許さない状況が続いております。この難局を会員の皆様と共に協力して乗り切りたく存じますので、今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。



小田原ガス株式会社

【はじめに】

弊社は、大正2年6月6日に小田原市内の1,100戸のお客さまに都市ガスを提供する会社として創業し、以来都市ガスの供給販売を主たる事業としております。

- 私たちは、エネルギー供給を通して地域社会の安心・安全を守り抜き、公益事業の使命を全うします。
- 私たちは、あらゆるエネルギー利用のベストアンサーをご提案し、お客さま一人ひとりによる「環境に優しい暮らし」のお手伝いをします。
- 私たちは、生活に寄り添う「親愛なる隣人」として、多様なサービスとお客さまを結ぶ中心的存在となり、快適な暮らしの実現と地域の健全な発展に貢献します。

を企業理念にお客さまや社会の発展に貢献することを目指し取り組んでいます。

LPガス販売に関しては一部門としての位置づけで開始いたしましたが、平成元年6月に弊社の出資するグループ会社として西湘ガス産業株式会社を設立し、LPガス販売事業への本格参入をいたしました。



た。現在はLPガスの販売を主軸にガス機器の販売、ガス工事の設計施工、リフォーム事業、天然水の宅配事業等を行なっております。

【製造設備を所有】

弊社は敷地内に20tプロパン貯槽を2基備え、自社で充填したプロパンガスをお客さまにお届けしております(一部委託あり)。

貯槽、充填設備を有していることから高圧ガス製造保安責任者(丙種化学(液化石油ガス))の資格取得を促進し、現在は従事者の8割が有資格者となっております。設備の維持管理等にあたっては保安係員を中心として随時意見交換等を行ない設備の現状把握、設備更新を計画・実行し常に最適な状況を保てるよう努めております。また、令和3年度には大規模な設備更新を予定しており更なる安全な運用を目指します。

【社内教育・訓練】

都市ガス事業においては災害時等の臨時供給にプロパンを原料ガスとした空気吸入式移動式ガス発生装置の設置を要する場合があります。その際に使用するプロパンガス容器(20kgまたは50kg)の移動業務に備え、多数の従業員が高圧ガス運送員証を有しています。そのため、平時は都市ガス業務にあたる従業員に対しても運送員保安講習のほか社内教育の場において各種講習・訓練を実施し、高圧ガス運送員の責務を担うための知識の習得、運送途上における保安レベルの向上にグループ一丸となり取り組んでおります。

【おわりに】

今後も都市ガス事業および西湘ガス産業(株)のプロパンガス事業におきまして保安の管理を徹底するとともに、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して、快適・安全・安心なガスをお客さまにお届けできるよう小田原ガスグループ一丸となって頑張っております。

最後になりますが、今後も引き続き(公社)神奈川県高圧ガス防災協議会、会員各社の皆様のご指導ご鞭撻を賜りたくよろしくお願ひ申し上げます。

協議会からの “お知らせ” と “お願い”

関東高圧ガス保安団体連合会保安大会の開催（御茶ノ水駅）

開催日時：2021年9月10日（金）13:30（12:30より受付開始）

開催場所：東京ガーデンパレス 2階「高千穂」(東京都文京区湯島1-7-5)

記念公演：「やれる理由こそが着想を生む。

～「はやぶさ」から「はやぶさ2」へ。新たな挑戦を生んだもの。～」

JAXA（独立行政法人宇宙航空研究開発機構）

名誉教授 川口 淳一郎 氏

2021年度講習会(運送員・運送指導員)日程及び会場(日程変更あり)

回	開催日	会場	運送員	運送指導員
1	2021年 7月 9日 (金)	かわさき保育会館	○	—
2	〃 7月 15日 (木)	横須賀市文化会館	○	○
3	〃 8月 19日 (木)	小田原市生涯学習センター	○	—
4	〃 9月 7日 (火)	横浜市開港記念会館	○	○
5	〃 9月 22日 (水)	相模原南市民ホール	○	○
6	〃 9月 30日 (木)	厚木市文化会館	○	○
7	〃 10月 20日 (水)	茅ヶ崎市民文化会館	○	○
8	〃 11月 10日 (水)	藤沢市民会館	○	○
9	〃 12月 9日 (木)	鶴見公会堂	○	○

2021年度高圧ガス移動監視者講習会開催予定

(指定する高圧ガス(可燃性、酸素、毒性、液化石油、特殊高圧の各ガス)を一定数量以上移動(輸送)するには『高圧ガス移動監視者』の資格が必要となります)

講習・検定開催日程	講習・検定会場	定員
〔講習〕 2021年11月17日(水)～18日(木) (2日間講習) 両日とも9時30分～17時30分 〔検定〕 2021年12月3日(金) 10時00分～11時30分	かわさき保育会館 大会議室 神奈川県川崎市 「京急八丁畷」駅下車 徒歩15分	60名
〔講習〕 2022年1月19日(水)～20日(木) (2日間講習) 両日とも9時30分～17時30分 〔検定〕 2022年2月4日(金) 10時00分～11時30分	川崎地区で開催予定 2021年8月1日以降のホームページ でご確認ください。	60名

※申込用紙は、ホームページに掲載(9/1以降)する「申込用紙」をダウンロードしてもご利用できます。

防災協議会事務局の「夏季休暇」について

2021年度の夏季における事務所の休業日を下記のとおりです。ご不自由をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

2021年8月11日(水)、12日(木)、13日(金)の3日間

事務局までお知らせ・ご連絡をお願いします。

社名、住所、組織変更及び人事異動による変更等がありましたら、お手数ですが所定の様式に必要事項をご記入のうえ、防災協議会事務局あてお送りください。

・社名変更 ・組織変更 ・住所変更 ・電話/FAX番号変更 ・協議会ご担当者変更等
【事務局：電話045-212-1454 FAX 045-212-1455】
E-mail:jimu@kanagawa-bousai-hpg.or.jp

※「所定の様式」は、ホームページからもダウンロードできます。